

東紀州教育学会通信

第2号

東紀州サテライト東紀州教育学会の活動をさらに前進

日頃は、東紀州教育学会の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

三重大学は昨年度東紀州サテライトを設置し、二人の教員が木本高等学校での総合的な学習の支援をしてまいりました。今年度、専任及び特任教員を東紀州教育学会に配置し、外国語教育やICT利用など新しい時代の教育活動に積極的に取り組んでおります。また、本学部では、地元で活躍できる教員を育成する地域推薦入試を来春より実施し、次年(2018)度には本地域での教員免許状更新講習の実施に向け準備を進めております。

今後、東紀州教育学会に宿泊の機能を持たせ、ここを基点として地域へ出向き活動を実施していきます。また、多目的室の改修や遠隔授業を実施できる環境を整える予定です。

本学部教職員が一丸となって様々な活動を推進してまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

教育学部東紀州サテライト特別委員会委員長 宮岡 邦任

特任教員の紹介

10月1日付けで着任しました榎本和能(えのもとかずよし)です。

四日市中央工業高校の理科(物理)教員として採用され、津高校で退職するまでの教員生活のうち、19年間木本高校に勤務していました。

また、県教育委員会に在職していた5年間は、東紀州の小中学校の教育行政に携わっていました。これらの経験を生かして、地元東紀州地域の教育支援に尽力したいと思っております。どうかよろしく願います。

(月・火曜は1日、水・木曜は午前の勤務です。)

特任教授 榎本和能



10月1日より着任しました萩野真紀(はぎのまき)です。

初任校の錦中学校(現在大紀中学校へ統合)から四日市市、津市等の中学校で34年間勤務しました。

微力ですが、音楽・英語の教科担当、教員研修・ICT利用などの教職経験を生かし、東紀州地域及び周辺地域の教育のサポートに精一杯取り組ませていただきます。どうぞよろしく願います。

(月・火・水の勤務です。)

特任教授 萩野真紀



トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・紀北町立赤羽小学校校内研修(小学校外国語活動・外国語について)に参加しました。(2017年10月17日)
- ・県立木本高校生徒対象の総合学習の時間に地域を考える授業を行いました。(2017年11月1日)
- ・尾鷲市小学校外国語担当者会議に参加しました。(2017年11月10日)
- ・熊野市小学校外国語教育推進会議に参加しました。(2017年11月17日)

東紀州教育学会に、Hi friends! 1(5年生)とHi friends! 2(6年生)の英語教材(ワークシートと指導案)をそろえました。

他の小学校英語教材も増やしていきます。

お気軽にご相談ください。



三重大学東紀州サテライト
東紀州教育学会



〒519-4394 三重県熊野市木本町1101-4
Tel: 0597-89-7015
Fax: 0597-89-7015
E-mail: ono@edu.mie-u.ac.jp

教育支援例

プログラミング入門



平成 32 年からの必修化が決まったプログラミング教育。

たくさんある教育用プログラミング言語のうち、マサチューセッツ工科大学が無料で提供している「スクラッチ」というプログラミング言語を通して、プログラミングの基礎を学ぶための「小学校の先生のためのプログラミング入門講座」を教員研修します。大学のノートパソコン 15 台もお使いいただけます。

要望に応じて子どもたちに向けて出前授業も行います。

なお、11 月 24 日（金）に熊野市立金山小学校においてプログラミングの出前授業を行います。
（担当 須曾野、大野、榎本、萩野）

本サテライト事業は、国での国立大学法人機能強化促進費の助成を受け行っています。担当教員の専門性を生かし、オンデマンド（学校や地域の要望に応じ）で、教育支援を行っていく予定です。
お問い合わせやご相談は、本通信表面右下の電話かメールでご連絡ください。

三重大学教職大学院 現職教員院生第 1 期生 東紀州地域での長期実習を終えて

尾鷲市立輪内中学校では、授業を参観させていただきました。先生方は快く授業を見せていただき、また子どもたちの学びの様子や授業の課題設定について、お話をうかがっていただきました。

学年生徒数 10 人以下というのは、私が勤務した経験がない規模だったので、授業における学び合う関係や生活における子ども同士の関係づくりをどのように取り組んでおられるのかを、参加・観察とお話をうかがうことで、学ばせていただきました。また、校長先生・教頭先生・養護教諭・栄養教諭・事務職員の先生方からも授業以外の毎日の子どもの様子や地域の様子についてお話を聴かせていただき、学校全体で 2 週間の実習を支えていただきました。

ありがとうございました。（小宮康子）

9 月 11 日（月）～ 22 日（金）、熊野市立五郷小学校にて実習をさせていただきました。

教職大学院で行われる、第 1 回目の実習でした。

目的は、学修テーマに関わらず、教育について幅広く考え、それぞれが学びを見つけるというものでした。

実習校では、低学年を中心に授業参観、授業実習を行いました。小中合同の運動会練習も参観しました。少人数、複式学級での算数科授業にも取り組みました。

2 週間という短い期間でしたが、学校現場の先生方、子どもたち、地域の方からたくさんのことを学び、充実した実習となりました。

（世古浩一）

==お願い==

学校での支援活動では、本学や担当教員の研究活動にも結びつけるため、教員及び児童・生徒さんを対象にアンケート等にご協力いただくことがあります（個人情報の取扱いには十分配慮し、校長先生等の許可を得てからとなります）。実践で得た情報をデータ化して研究し、研究結果を発表することで「社会還元」を目指しています。

